



I-OPEN
PROJECT 23
REPORT

I-OPENER'S VOICE

メンタリング参加者の想い



社会やユーザーが求める
商品・サービスを「ごみ」からつくります
井川 桃花 株式会社wead

自発光植物を用いて電気を極力使わない生活を
実現し、気候変動の問題を解決したい
永井 健治 株式会社LEP



『愛用服』がいつまでも
『環る』世界を作ります
高橋 裕輔 株式会社オールユアーズ

お客様の期待を上回る 柑橘を
「科学技術」で産します
西田 秀基 株式会社しあわせみかん



世界中どこでも農業を実現する、
室内農業装置のデザインを考える
須貝 翼 スバスキューブ株式会社

小さくてもペイフォワードな人に光を当て、
人のつながりで持続社会をつくる自治体向けサービス
清水 義弘 ためま株式会社



大学と地域の協働で、地域で活躍する人材を育て、
その地域らしい産業発展に役立ちたい
矢野 加奈子 学校法人東京農業大学
浪江町復興プロジェクト

「フラワーロス」のない世界を実現し
すべてのいのちが輝く社会に貢献したい
松村 吉章 一般社団法人フラワーライフ振興協議会



衣料のリペア、リメイク事業で、地球の再生への
貢献を通じた持続的な事業価値向上を実現します
宮森 穂 株式会社ミヤモリ

薬剤師監修クラフトチョコレートで一人でも多く
の方々に心身ともに健康になっていただきたい！
名古屋 茜 ロッツ株式会社



I-OPEN
PROJECT 23

スタートアップ企業、非営利法人や個人事業主の方の体験談及び専門家のサポーター、有識者のアドバイスから、社会課題への取り組みについて共に考える特許庁主催で開催された「I-OPEN PROJECT 21 フォーラム」。メンタリングに参加した I-OPENER の気づきや成果を元に、専門家のサポーターと有識者の対話を通して、社会課題解決に使える知財活用の可能性を紐解きました。



INDEX

令和5年度に参画したI-OPENER の活動の概要

- 株式会社wead
- 株式会社LEP
- 株式会社オールユアーズ
- 株式会社しあわせみかん
- スパイスキューブ株式会社
- ためま株式会社
- 学校法人東京農業大学 浪江町復興プロジェクト
- 一般社団法人フラワーライフ振興協議会
- 株式会社ミヤモリ
- ロッツ株式会社



株式会社wead

代表取締役 井川 桃花

<https://www.wead-inc.com/>

脱炭素化や廃棄物の循環を実現するため、知財を活かして、使用済生分解製品を高速に分解する特殊堆肥化資材を用いた事業の成長を目指す。

株式会社weadは、紙素材・生分解性素材を高速に分解し、堆肥化を促進させるオリジナル資材「greevy™」を独自開発。この技術に関する知財を活かして、ゴミを焼却することによる温暖化を抑止する取り組みを全国さらには海外に展開することを構想中。

I-OPENで取り組んだこと

- 循環エコシステムを踏まえた事業計画の明確化
- オープン&クローズ戦略の検討
- 独自ブランド構築

知的財産の保護・活用

- ノウハウ秘匿管理の検討
- 特殊堆肥化資材「greevy」の商標調査/商標出願検討

I-OPENER's voice

「社会やユーザーが求める商品・サービスを『ごみ』からつくります」





株式会社LEP
代表取締役 永井 健治
(大阪大学名誉教授)

サポーター：
濱田 隆徳 (野村アグリプランニング&アドバイザー株式会社 取締役)
藤井 敏史 (藤井特許事務所 所長/弁理士)

カーボンニュートラルに貢献するため、照明として利用可能な自発光植物の研究開発。知財を活かし、研究成果の事業化と社会普及を目指す。

株式会社LEPは、照明代替としての遺伝子組換え自発光植物の利用価値に着目し、カーボンニュートラルに向けた研究開発を実施中。同時に、知財を活かしながら、観賞用発光植物（発光細胞や発光カルス、発光花き）を主力商品として事業展開し、遺伝子組換え植物の有用性をアピールすることでパブリックアクセプタンスを高める活動を推進する。

I-OPENで取り組んだこと

- 大阪大学名義の特許出願&登録商標「LEP」の検討/ライセンス条件の検討支援
- 資金集めのための説明資料の検討
- 将来の標準化技術の可能性を含めたオープン&クローズ戦略の検討

知的財産の保護・活用

- 将来の標準化技術を想定したバリューチェーン必須の特許出願検討
- 市場導入フェーズに合わせたファミリーネームの商標調査/出願検討
- 個別の製品・サービス単位のペットネームの商標調査/出願検討

I-OPENER's voice

「自発光植物を用いて電気を極力使わない生活を実現し、気候変動の問題を解決したい」



株式会社オールユアーズ
 代表取締役 高橋 裕輔

<https://allyours.jp/>

脱炭素社会の実現のため、100%完全循環の繊維ビジネスに関する新事業を構想。知財を活かして、全員参加型の経済循環を目指す。

株式会社オールユアーズは、最高の着心地を"はじまりから、おわりまで"責任を持つというコンセプトで2015年に創業した衣服のスタートアップ。機能性に優れた「ALL YOURS」ブランドで事業成長。さらに、回収した衣服を原料として活用する循環経済の課題を知財の力で解決することを目指します。

I-OPENで取り組んだこと

- MVV及びブランドの再構築
- 循環型ビジネスの検討
- 循環型ビジネスのトレーサビリティを含むIT化の検討

知的財産の保護・活用

- オールユアーズの循環型ビジネスのブランディング（ネーミング開発）及び商標調査/出願
- 循環型ビジネスモデルに関連した特許出願の検討

I-OPENER's voice

「『愛用服』がいつまでも『環る』世界を作ります」



株式会社しあわせみかん
 代表取締役 西田 秀基

<https://shiawase-mikan.jp/>

瀬戸内海近隣の柑橘ブランド向上のため、みかん・柑橘を高品質に生育するための科学技術に基づく知識を地域社会に還元。地方創生を目指す。

株式会社しあわせみかんは、地域の荒廃園地を自社の生産園地へ再整備し、山口県におけるみかん・柑橘の供給責任を果たすとともに、地域の高齢者の雇用を確保しながら、過疎による地域の崩壊を抑制する取り組みを進行中。糖度の高いみかん・柑橘を生育するための様々なアイデアを一元的に情報公開するとともに瀬戸内海近隣の地方創生を目指す。

I-OPENで取り組んだこと

- 柑橘事業における貯蔵技術の向上、竹藪化を抑制する事業の立ち上げ、樹木や植物に関する環境保護等に関するコンサル事業の検討
- ノウハウと社会に還元する情報の峻別支援
- 農地環境保護に関するアイデアの知財化検討

知的財産の保護・活用

- 商標「しあわせみかん」の商標調査/商標出願検討
- 農業技術に関するノウハウ管理と公開情報の一元化検討

I-OPENER's voice

「お客様の期待を上回る柑橘を『科学技術』で産します」



スパイスキューブ株式会社
 代表取締役 須貝 翼

<https://www.spicecube.biz/>

農業の課題解決のため、人口密集地の小スペース等に設置可能な植物工場装置を開発。知財を活かし、装置の普及、農福連携の促進を目指す。

スパイスキューブ株式会社は、農業が直面する課題解決のため、人口密集地の空き物件スペース等、場所を選ばずどこでも農業をスタートすることができる小規模植物工場装置「アグロット」を開発。知財を活かして、これら装置等を世の中に広め、農福連携事業として障がい者の方々が能動的に仕事ができるような環境を整えることを目指す。

I-OPENで取り組んだこと

- アグリテック関連事業における競合他社の知財戦略の分析
- アグリテック分野での事業成長ストーリーと農福連携の留意点の確認
- Gマークエントリーに向けた資料作成支援

知的財産の保護・活用

- アグリテック関連分野における事業成長度合いと特許の重要性の確認／出願の検討
- 屋内プランターの商標「AGROT」の商標調査及び出願検討支援

I-OPENER's voice

「世界中どこでも農業を実現する、室内農業装置のデザインを考える」

孤立社会の解消のため、ゆるいつながりと偶発的なセレンディピティを生むICTコミュニティを構築。知財を活かしてコミュニティの普及を推進。

ためま株式会社は、無意識下の社会的孤立の解消、市民同士のつながり・主体的な助け合いを促進するために、町の回覧板や町役場で紹介されている地域交流の場をもっとわかりやすく、必要とする人に確実に届けるべく、地域参加に特化したICTコミュニティ情報基盤「ためまっぷ」を構築、提供。知財を活かして、「ためまっぷ」の普及を推進する。

I-OPENで取り組んだこと

- ICTコミュニティ情報基盤「ためまっぷ」の顧客価値の可視化支援
- ブランディング支援
- サブプログラムの特許出願検討支援並びに外国特許出願検討支援

知的財産の保護・活用

- 行政・地方自治体との連携を図る上で信用獲得するための知財保護
- 外国での事業展開をする上で必要となる知財保護戦略

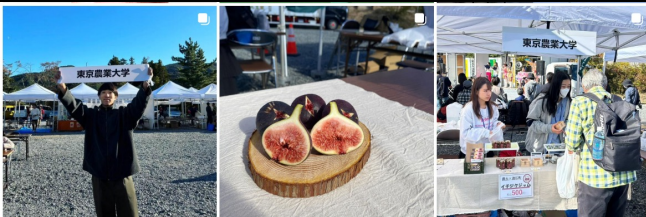
I-OPENER's voice

「小さくてもペイフォワードな人に光を当て、人のつながりで持続社会をつくる自治体向けサービス」



ためま株式会社
 代表取締役 清水 義弘

<https://www.tamemap.net/>



学校法人東京農業大学
 浪江町復興プロジェクト
 学術研究員 矢野 加奈子

https://www.instagram.com/nodai_namie_ichijiku/

東北被災地の復興支援のためのプロジェクトを立ち上げ。知財を活かして、様々なステークホルダーをつなぐために産学連携を推進。

東京農業大学は、福島県浪江町復興支援プロジェクトを立ち上げ、福島県浪江町での農業支援として作物栽培事業（イチジク）の支援や地域全体での商品開発、また、都市と農村をつなぐ新たな地域振興、人事育成を目指して活動。知財を活かして、様々なステークホルダーをつなぐために産学連携を推進。

I-OPENで取り組んだこと

- 浪江町復興に共感呼び込むナラティブブランディングの支援
- 様々なステークホルダーが受け取る価値の可視化を含む無形資産の整理
- 広義の知財・無形資産の棚卸と将来の事業承継を意識した知財戦略の検討

知的財産の保護・活用

- ブランド活用ガイドブックの作成に向けた検討（利用許諾条件の明確化）
- 東京農業大学における知的財産管理ポリシーの確認

I-OPENER's voice

「大学と地域の協働で、地域で活躍する人材を育て、その地域らしい産業発展に役立ちたい」



フラワーライフ
振興協議会



一般社団法人フラワーライフ振興
協議会

代表 松村 吉章

理事 大槻 佐和子

<https://flower-life.org/>

フラワーロス問題解消のため、エビデンスに基づく新しい切り口の活動 を实践。知財を活かしてナラティブブランディングの浸透と協業を加速。

一般社団法人フラワーライフ振興協議会は、生産された花が消費されることなく廃棄される「フラワーロス」の問題に対して、福祉・介護・医療領域の分野におけるエビデンスに基づいた健康経営・フラワーウェルネスプログラムという新しい切り口の活動を実践。知財を活かしてナラティブブランディングの浸透と協業の加速を目指す。

I-OPENで取り組んだこと


- 事業のパーパス&バリューの再確認とブランディング戦略の検討
- 生物多様性バンクを参考とするビジネスモデルの検討
- ライセンス契約に関するスキームとオープンクローズ戦略の検討

知的財産の保護・活用

- 商標「フラワーロス」及び「スマイルフラワー」の商標調査及び商標出願の検討
- ビジネスモデル特許出願の検討
- 契約雛形の検討準備、契約スキーム作成支援

I-OPENER's voice

「『フラワーロス』のない世界を実現しすべてのいのちが輝く社会に貢献したい」



ミヤモリが掲げる衣料循環型
地球温暖化対策

株式会社ミヤモリ
 専務取締役 宮森 穂
 マネージャー 山城 道雅
 社員 永野 和明

<https://www.miyamori-co.com/>

地球環境改善のために、衣類のリペア、リメイク事業などを手がける。 知財を活かして、繊維資源や衣類服飾雑貨の循環を広げることを目指す。

株式会社ミヤモリは、地球温暖化ストップを目指して、裁断片を炭化し、鉛筆の芯に混ぜた「服の鉛筆」を製造。それらを使用し子供たちへアップサイクル事業を学んでもらうための“出前授業”活動を行う。知財を活かして、衣服修繕の「ReForme」というネーミングに込めた職人氣質のプライド象徴と協業先との連携拡大、及び子供たちとSDGsを考える活動を推進。

I-OPENで取り組んだこと

- 事業全体のパーパス&バリューの整理とブランド戦略の検討支援
- 職人に対するインナーブランディングの醸成支援
- 知財を絡めた社員インセンティブ向上施策の検討

知的財産の保護・活用

- 職務発明規定の制定支援
- アイデアシート及び発明提案書の雛形検討及び自社出願の準備支援
- 契約交渉条件の洗い出し（事業提携先と共有名義とすべきか否か/単独名義とすためのアンカー効果戦略の伝授）

I-OPENER's voice

「衣料のリペア、リメイク事業で、地球の再生への貢献を通じた持続的な事業価値向上を実現します」



ロッツ株式会社
監査役 名古屋 茜

<https://lots.co.jp/>

健康増進、社会保障負担軽減などのため、薬剤師監修の未病促進クラフトチョコレートを開発。知財を活かして、事業の拡大に取り組む。

ロッツ株式会社は、薬剤師が健康維持に貢献できる成分を含む材料を調合して未病促進クラフトチョコレートを開発。知財を活かして、事業を拡大し、健康増進による社会保障費削減を図るとともに、フェアトレード・障害者雇用・東北復興・地域創成への貢献を目指す。

I-OPENで取り組んだこと

- ブランド戦略の検討（ナラティブブランディングの重要性理解）
- 今後の事業構想の検討支援
- キャッチフレーズの開発支援

知的財産の保護・活用

- 登録商標「CACAO broma」の有効使用範囲の確認とブランド表記上の留意点の確認
- キャッチフレーズ「カカオde未病ケア」の活用検討

I-OPENER's voice

「薬剤師監修クラフトチョコレートで一人でも多くの方々に心身ともに健康になっていただきたい！」